

スクールローズガーデンプロジェクト

バラ授業

6月 1学年では、福山スクールローズガーデンプロジェクトの一環として、技術員さんにバラに関わる授業を行っていただきました。



バラに関わる話を詳しく
聴きました。福山バラ会議
にむけて準備がすすめられ
ています。

普段の授業では聴くこと
ができないことも教えても
らえました。



スクールローズガーデンプロジェクト

バラ植栽

2月6日（火）福山スクールローズガーデンプロジェクトの一環として、正門付近の花壇にバラの植栽を行いました。



生徒、保護者、教師の共同作業です。まずは技術員さんの説明を聞きました。



この花壇づくりにあわせて美術部が素敵な看板を作ってくれました。

力をあわせて、福山の象
徴であるバラをきれいに植
えていきます。



植えたバラの種類

- ・ヴルヴァリン(日本)
- ・福山城(日本)
- ・ピエール・ドゥ・ロンサール(フランス)
- ・パスカリ(ベルギー)

この看板のQRコードから福山のバラ
に関する情報を見ることができます。

心を込めて植えた世界中のバラは、それぞれの美しさで花壇を彩ること
でしょう。

城南中学校の学校生活も、このバラのように、仲間のそれぞれの良さが
認め合えるようにしていきましょう。

スクールローズガーデンプロジェクト

2 学年 SDG s 学習

2 学年では、福山スクールローズガーデンプロジェクトと SDG s の学習、修学旅行を関連付けて、バラに関わる取組を行いました。

私達は、修学旅行で大阪に行きました。そこで SDGsに関する学習を進める中で「5 本の樹計画」という取組を知りました。ビルには、大都会の真ん中に建てられているにもかかわらず、敷地には多くの木が植えられ、畑や小川があり、のどかな自然が広がっています。

「5 本の樹計画」とは生きものたちと豊かにつながり、周囲の自然環境と共生する健やかさを持つという考え方です。実際に見学した場所では地元の幼稚園、小学校と協働した教育支援活動や、オフィスワーカーを対象とした体験型ボランティアの作業を定期的に行っています。田植えや稲刈り、野菜の栽培など、貴重な農作業体験、自然教育、食育の場として幅広く活用されています。

私達はこの「人々の暮らしと自然の共生」を自分たちの身の回りで実現できないかと考え、学校の敷地に福山の代名詞とも言えるバラを植樹することにしました。



大阪のビル



見学した場所

どんな方法でバラを植えたのか？

もともと城南中学校ではスクールローズガーデンプロジェクトの活動や学習を行っています。私達はもっと自発的に植樹に取り組みたいと考え、何度も話し合いを重ねながら場所の選定や道具の準備、費用の計算を行いました。自分たちの力で道具や肥料を揃えるために駅前で募金活動を行うとともに、活動の目的についても呼びかけ、福山のバラの魅力を多くの人に知ってもらえるよう行動することができました。



研修のようす



駅前での募金活動



作業のようす

2023年12月14日

2学年生徒で、自分たちで計画して集めた募金の資金をもとに、バラを学校の敷地に植え、育てました。